

- 問1 飛鳥時代から奈良時代にかけて整備された律令国家の税制のうち、収穫高そのものではなく「口分田の面積」を基準として課され、収穫した稲を地方の倉庫に貯蔵することが義務付けられていた税はどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 班田収授法によって与えられた土地に課される租 2. 都での労役の代わりに布を納める庸 3. 地方の国司のもとで年間60日を限度に働く雑徭 4. 絹や糸、または地方の特産物を納める調
- 問2 奈良時代の遺跡から発見された資料において、ある木の板に「産地・品目・送り主」の情報が記されていました。このような「木簡」と呼ばれる資料から読み取れる、当時の社会の様子や仕組みに関する説明として、背景や目的をふまえて最も適切なものを選びなさい。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 租として徴収された米を海外へ輸出するために、港で積み荷を管理する台帳として木簡が利用されていた。 2. 防人として九州へ派遣される農民が、自らの氏名や出身地を忘れないよう、政府が公式な身分証として配布していた。 3. 仏教の教えを全国に広めるため、聖武天皇が各地の国分寺へ経典の内容を簡略化して記した木板を配布した。 4. 律令国家の仕組みにより、各地の特産物を納める調や、労役の代わりに布などを納める庸が、全国から都へ集まっていた。
- 問3 7世紀後半から奈良時代にかけて、日本は遣唐使を派遣して唐の国際色豊かな文化や国家体制を学びました。これに関連して、当時の日本の都である平城京を建設する際に、碁盤の目状の区画など都市計画の直接的なモデルとなった唐の都はどこですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 北京 2. 上海 3. 長安 4. 奉天
- 問4 大化の改新から律令制度の確立にかけて整備された租税のうち、絹や布、あるいは各地の海産物といった「地方の特産物」を、都まで運んで納める義務のことを何と言いますか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 庸 2. 公事 3. 調 4. 租
- 問5 奈良時代には、中国（唐）との交流を通じて西アジアやインドの文化が日本に伝わりました。当時、派遣された使節団が持ち帰った国際色豊かな宝物や、聖武天皇ゆかりの品々が納められている、東大寺にある建築物はどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 平等院鳳凰堂 2. 中尊寺金色堂 3. 法隆寺夢殿 4. 東大寺正倉院
- 問6 東大寺の正倉院には、ペルシャ風の文様が施された水差しや、熱帯地方を原産とする木材を用いた楽器など、アジア各地との交流を物語る品々が数多く納められています。このような、遣唐使などを通じて異国の文化を積極的に取り入れた天平文化の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 平安貴族の生活に基づいた、日本独自の国風文化 2. 唐の影響を強く受けた、国際色豊かな文化 3. 禅宗の影響を受けた、簡素で力強い武家文化 4. 町人の経済力を背景とした、華やかな元禄文化
- 問7 8世紀の奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について述べた文として、最も適切なものはどれか。なお、この時期の文化は、遣唐使がもたらした大陸の進んだ文化や、シルクロードを経由した西アジアなどの影響を強く受けている。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 聖武天皇の遺品を納めた正倉院に見られるような、国際色豊かな貴族文化 2. 聖徳太子が厚く仏教を保護したことで興った、日本で最初の仏教文化 3. 遣唐使が廃止された後に発達した、日本の風土や生活に合わせた日本独自の文化 4. 平氏の時代に、日宋貿易によってもたらされた禅宗の影響が強い文化
- 問8 8世紀の日本において、聖武天皇が国分寺建立の詔（みことのり）や大仏造立の詔を出した歴史的背景と目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 日本古来の神々と仏教を一体とする考え方を広めることで、地方の豪族が持つ独自の宗教的権威を否定するため。 2. 戦乱で亡くなった多くの武士や民衆を供養し、極楽往生を願う念仏の教えを全国の農民に普及させるため。 3. 感染症の蔓延や貴族の反乱による社会の動揺を、仏教の教えに基づいた国家的な祈りによって鎮め、国を安定させるため。 4. 寺院に国民の戸籍を管理させる制度を整えることで、税の徴収を確実にし、幕府の財政基盤を強固にするため。
- 問9 奈良時代に編纂された書物の説明として、内容とその目的の組み合わせが最も適切なものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 古事記は、神話や国の成り立ちを記すことで、天皇による統治の由来を明らかにしようとした。 2. 万葉集は、仏教の教えを広めるために、聖武天皇の時代に国ごとに作成が命じられた。 3. 日本書紀は、各地方の産物や土地の様子を詳しく調査し、税の徴収を効率化するために作られた。 4. 風土記は、全国の優れた和歌を収集することで、貴族の教養を高めることを目的とした。
- 問10 8世紀に編纂された「風土記」の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 天皇による統治の正当性を示すため、神話から続く国家の成り立ちを年代順に記録した。 2. 中央政府が地方の実態を把握するため、国ごとに郷土の地理や地名の由来、伝承などをまとめさせた。 3. 仏教による国家の安定を願って、全国に建立された国分寺や国分尼寺の由来を詳しく記した。 4. 租・庸・調などの税を確実に徴収するため、農民の戸籍や口分田の面積を地方ごとに記録した。
- 問11 聖武天皇が平城京に東大寺を建立した背景にある、当時の社会状況と政治的な目的として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 仏教の力によって国家の安定をはかる「鎮護国家」の思想に基づき、疫病や反乱などの社会不安を解消しようとした。 2. 唐から伝わった最新の建築技術を誇示することで、地方の豪族を威圧し、中央集権体制を強固にしようとした。 3. 遣唐使によってもたらされた禅宗の教えを広めるため、国家の予算を投じて巨大な寺院を建設した。 4. 死後に極楽浄土へ行けることを願う「浄土信仰」が貴族の間で広まったため、その中心的な修行の場として建立した。
- 問12 奈良時代の天平文化の特徴について、当時の国際情勢や文化交流の観点から説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 遣唐使の廃止によって唐との交流が途絶えたため、日本独自の優雅な国風文化が生まれた。 2. 武士の精神を反映した、素朴で力強い文化が鎌倉を中心に展開された。 3. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの質素な美を尊ぶ文化が形成された。 4. 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。
- 問13 律令制における「調」や「庸」の納入について、当時の農民にとって特に重い負担となった背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 納める品物を準備するだけでなく、それらを自ら都まで運ばなければならなかった。 2. 都で消費される製品にするため、農閑期を利用して現地の役所で作り直す必要があった。 3. 都へ運ぶための輸送費を、あらかじめ「租」の一部として余分に徴収されていた。 4. 収穫した産物を村の倉に納めるだけで済んだが、その収穫量そのものが過大であった。